**第２２回**

**関東中学生空手道選手権大会**

**実施要項**

◇申込 令和元年８月１９日(月)

　　　　　　~　令和元年９月１０日(火)

◇期日 令和元年１０月１３日(日)

◇会場 藤沢市秩父宮記念体育館

□主催 全日本空手道連盟関東地区協議会

関東中学校空手道連盟

□主管 神奈川県空手道連盟

神奈川県中学校空手道連盟

□後援 神奈川県教育委員会

(公財)神奈川県体育協会

1. 期日・会場

（１）期 日 令和元年１０月１３日（日）

（２）会 場 藤沢市秩父宮記念体育館

（３）競技日程

|  |
| --- |
| １０月１３日（日） |
|  開会式 ９：００ 競技開始 ９：４５ 閉会式 １６：００ |

（４）練習会場

１０月１２日（土）１４：００～１６：３０ 藤沢市秩父宮記念体育館１F 武道場

１０月１２日（土）１４：００～１６：３０ 藤沢市秩父宮記念体育館 サブアリーナ

１０月１３日（日）１５：３０まで 藤沢市秩父宮記念体育館 サブアリーナ

（５）会議

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 会議名 | 日　時 | 会　場 |
| 審判会議 | **１０月１３日（日）　８：３５** | 藤沢市秩父宮記念体育館　２F研修室 |
| 監督会議 | **１０月１３日（日）　８：５０** | 藤沢市秩父宮記念体育館　２F研修室 |

1. 競技種目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 組手競技 | 形競技 |
| 男　子 | 団体組手 | 個人組手 | 団体形 | 個人形 |
| 女　子 | 団体組手 | 個人組手 | 団体形 | 個人形 |

1. 競技規定

（公財）全日本空手道連盟組手競技規定、形競技規定及び、関東中学校空手道連盟申し合わせ事項による。

1. 競技方法
2. 組手競技、形競技ともトーナメント方式とし、３位決定戦は行わない。
3. 団体種目は登録選手５名までの３人制とする。（同一種目１校１チームとする）

なお、団体組手は２名でも参加可能とし、その場合は先詰めとする。

1. 個人競技種目に登録された選手の変更は認めない。
2. 競技場には、競技用マットを使用する。
3. 赤・青帯は、各自持参とする。帯の刺繍について、氏名以外では、学校名・都県連盟名・全日本空手道連盟名のいずれかであることが望ましい。
4. 組手競技について
5. 競技時間は、男女ともに１分３０秒のフルタイムとし、勝敗は競技時間内に６ポイント差が生じた場合、競技終了時に得点の多い競技者、先取の取得、判定によって決定する。
6. 安全具は、（公財）全日本空手道連盟検定品を必ず着用する。※高体連検定品は不可とする
7. 男子組手競技は次の６点

・拳サポーター、ボディプロテクター、ニューメンホーはⅤ以降（Ⅵ･Ⅶが望ましい）

・シンガード、インステップガード、ファールカップ

1. 女子組手競技は次の５点

・拳サポーター、ボディプロテクター、ニューメンホーⅤ以降（Ⅵ･Ⅶが望ましい）

・シンガード、インステップガード

1. 団体組手競技の場合は、出場選手分の安全具を用意すること。

※シンガード、インステップガードについては、全空連検定品の白色の製品のみ使用できる。

1. 団体組手競技においては、回戦毎にオーダー票の提出をする。
2. 形競技について
3. フラッグ方式とする。
4. 空手競技規定（ＪＫＦ）の指定形リスト及び全空連得意形リストから選択する。

ア．１、２回戦は、（公財）全日本空手道連盟第Ⅰ指定形とし、同一形の繰り返しを可とする。

イ．準々決勝は、（公財）全日本空手道連盟第Ⅱ指定形の中から選定し演武する。

ウ．準決勝・決勝は、これまで使用してない第Ⅰ第Ⅱの指定形及び、全空連得意形リストより

選択し、同一形の繰り返しを可とする。

1. 審判員

大会審判団は、（公財）全日本空手道連盟公認の有資格者（審判員）により編成される。

1. 各都県は、公認地区組手・地区形審判員以上の有資格者５名を派遣する。
2. 大会審判員に不足が生じた場合は、開催都県連盟から選出し委嘱する。
3. 審判員に係る経費について、開催都県での負担はしない。
4. 派遣審判員は、参加申込書（表紙）に記入し、参加申込みと同時に提出する。
5. 開催都県は審判長を任命し、次年度開催都県は副審判長を申告する。正・副審判長は派遣審判員数に含めないものとする。
6. 表彰　　個人種目・団体種目とも第３位まで表彰する。
7. 参加資格
8. 参加選手は（公財）全日本空手道連盟の会員登録をしていること。（会員申請中は認めない）
9. 学校所在地の都県空手道連盟主催予選会において、選抜された団体（中学校）又は選手であること。
10. 監督・コーチは当該の中学校教員、若しくは（公財）全日本空手道連盟に登録された会員であり、

（公財）日本スポーツ協会公認空手道コーチ１以上、又は都県組手審判員以上の有資格を必須とする。

1. 参加制限
2. 各都県の参加数は下記の通りとする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種　目 | 参加数 |  ※個人種目にあっては、（３）の指定選手を追加する。 |
| 開催地 | 各都県 |
|  男子団体組手 | ４チーム | ２チーム |
|  女子団体組手 | ４チーム | ２チーム |
|  男子個人組手 | ４名 | ２名 |
|  女子個人組手 | ４名 | ２名 |
|  男子団体形 | ４チーム | ２チーム |
|  女子団体形 | ４チーム | ２チーム |
|  男子個人形 | ４名 | ２名 |
|  女子個人形 | ４名 | ２名 |

1. 各参加校のチーム編成は下記の通りとする。

・団体種目については、参加登録選手５名以内とする。

・監督１名を置く。監督は、複数のチームの監督を兼ねることができる。

・コーチは各チームの必要に応じて１名を置くことができる。

・同一選手（チーム）に帯同して試合場には入れるのは監督又はコーチいずれか１名とする。

1. 第２７回全国中学生空手道選手権大会（北海道開催大会）で個人種目第５位（ベスト８以上）に入賞した選手は指定シード選手として、各都県別枠の参加権を持つとともに組み合わせにおいてシードする。指定シード選手であっても、必ず各都県からの申し込みを必要とする。団体種目はシード・参加権をともに持たない。
2. 参加申し込み
3. 申込期間

令和元年８月１９日（月）　～　令和元年９月１０日（火）必着

1. 申し込み方法

必要事項を記入して作成した参加申込書は下記申し込み先に送付する。あわせて、データを下記メールアドレスまで送付する。

|  |  |
| --- | --- |
| 申込先 | 必要書類 |
| 〒276－0042神奈川県横浜市港南区港南台3-15-3-203　 　神奈川県空手道連盟　　　事務局長　秋山　聡 宛　FAX　　045-835-0800　　携　帯　090-8517-5093　アドレス：satosiakiyama@ktf.biglobe.ne.jp | 参加申込書一式①参加申込書（表紙）【要押印・送付・メール】②③参加申込書（個人・団体）【送付・メール】④参加選手数一覧【メール】⑤派遣審判員連絡先【メール】※データ送信の際は、ファイル名の文頭に必ず都県名を入れて下さい。 |

1. 参加料
2. 団体種目は１チーム１種目７，０００円、個人は１人１種目３，０００円とする。尚、団体種目出場者が個人種目に出場するときも、個人の参加料を必要とする。
3. 各都県空手道連盟で取りまとめ、下記口座に振り込むこと。振込人の名称は、「○○県　氏名」にすること。
4. 振込先：郵便局で払込取扱票を使用して送金のこと。尚、通信欄への入金内訳の記載を必須とする。

ゆうちょ銀行：郵便振替　（郵便局にある払込取扱票を使用）

口座記号・番号　００２７０－６－１１１３３２

加入者名：　　神奈川県空手道連盟

1. 組み合わせ抽選

　　関東中学校空手道連盟の委託により、神奈川県空手道連盟が行う。

1. 参加上の注意
2. 参加選手はあらかじめ健康診断を受けておくこと。また、健康保険証を持参すること。
3. 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者側でおこなうが、その後の責任は負わない。
4. 主催者において、大会期間対象の傷害保険に加入するが、各自スポーツ傷害保険に加入していること。また、事故があった場合は必ず学校に届け出ること。
5. 監督、選手は紳士的な態度で競技に臨むこと。選手の染髪、ピアス、過度の道着の変形等、競技者としてふさわしくないと判断された場合は出場を取り消す。
6. 観客席からの応援は、紳士的なものであること。
7. 参加選手は道着左胸に学校名、左袖に都県名を記入する。

学校名は、２０㎝×８㎝程度とする。色は黒色とするがスクールカラーの使用は認める。

1. ＩＤカード・ゼッケンを配布する。（ゼッケンは、背中への貼り付け不備に注意のこと）
2. 監督は、紺または黒のスーツ又はブレザー、ズボン（女性はスカート可、男性はネクタイ）を着用すること。その際、競技役員（審判員）との区別をはかるために、全空連ネクタイ及び全空連エンブレムは着用しないこと。監督は競技場では常にＩＤカードを首にかけて携帯すること。監督証は、大会本部にて準備し、受付時に配布する。
3. 選手は、ＩＤカードを常に首から下げて携帯すること。

（10） 学校名プラカードは使用しない。